

私の英語勉強の PC 環境（その 1 - PC 版辞書）

2009.12.26

西田 巖

(Richmond E.S.)

(はじめに)

会社を退職後、本格的に英語の勉強を始めて 10 数年が過ぎました。サラリーマン現役中は、システム屋としてコンピュータに関わっていましたので、退職後の英語の勉強においても身近にパソコンを使ってきました。この 10 年の間にも、目を見張るパソコンの性能アップと、想像以上のインターネットの普及で多くの海外の情報源に簡単にアクセスできるようになりました。英語を勉強する者にとって、海外英語サイトから、文字情報だけでなく、生の音声や画像、動画も利用できるようになり本当にありがたい時代になりました。

日常の英語勉強だけでなく、5 年前に立ち上げたリッチモンド英語教室のウェブサイトの構築、運用にパソコンを使っています。とりわけ、VOA, BBC, CNN などの海外英語サイトからテキスト、音声、写真、動画などの生データをダウンロードし、加工、編集して教室用の教材作成を行っていますがこの作業で計り知れないほどに多くの優れたフリーソフトの恩恵を得ています。

このように、10 数年来パソコンを使って英語の勉強をしてきましたが、その区切りとして、もし、私の PC の使い方が皆さん方の英語勉強のツールとして何か参考になればと思い、「私の英語勉強の PC 環境」としてまとめてみました。何かのヒント、一助なれば幸いです。なお、私の PC 環境といっても決して最新の高価なハードやソフトを使った特別なものではありません。皆さんがお使いの普通の (Windows) PC と同じです。ただ、私なりに使い慣れている環境、ちょっとした工夫、および普段便利に使っているソフトなどを紹介してみたいと思います。

パート 1 として、「私の PC 版の辞書」、次回に、パート 2 として、教室の教材作成に大いに利用している「勉強用のユーティリティソフト類」(たとえば、NHK, BBC, VOA などからの音声の録音・編集ソフト類、また、CNN などからの動画ニュースのダウンロード、動画編集、再生ソフトなど) と紹介します。

I. PC 英語辞書

そもそも私が、自分なりに英語の勉強に突っ込むきっかけになったのは江戸末期からの「日本における英和辞書の発展史」に興味を持ったことが契機になりました。ということで、普段の勉強のとき、興味を持った単語や語句について昔の辞書や、大、中、小の数冊の辞書に当たるのはまったく苦痛ではなく、かえって、辞書ごとの違いや特色を知ることができそれが楽しみでもあります。

しかし、根をつめた英語の勉強の場面でなく、英字新聞や普通の英文資料を読むときに、以前に見た記憶はあるが意味を忘れていた単語、また、その類語、反語などをサッと知りたいときは

電子辞書や PC 辞書を使っています。そこで、以下に、私が普段使っている PC 辞書の特色や、(私なりの) 使い方などを紹介してみたいと思います。

1. 「英辞郎 + PDIC (Unicode 版)」

1.1 英辞郎

- ・ 英辞郎には、英辞郎シリーズとして、英和辞書に当たる英辞郎、和英辞書に当たる和辞郎、英語略号辞書に当たる略辞郎などがある。私は、これらを 1 セットの辞書グループにまとめて使っています。(英和 + 和英： 検索文字をアルファベットの英字モードで打ち込めば英和辞書の検索、検索文字を日本語モードで入力すれば和英辞書を検索)
- ・ 英辞郎の最大の特徴は、最新の新語(項目)などが次々に登録、更新されることである。2009 年 12 月末の最新 Ver.118 では、(英和) 英辞郎の項目数は 172 万項目になっています。
- ・ 紙の辞書では、たとえば、**in an effort to (do), make no mistake** などの前置詞句や成句は、それぞれ、**effort, mistake** の見出しの中の折込み見出しとして扱われています。英辞郎では、これらの前置詞句や成句が最初から第一見出し項目となっており検索は文字入力の頭からインクレメンタルになされ(前方一致検索)非常に能率がよいです。
(インクレメンタル・サーチ： たとえば、**friend** の訳の検索をするとき、**'friend'** と打ち終わってからそれに完全一致する語を検索するのではなく、最初の **'f'** を打ち込むと **'f'** で始まる語に飛び、次に、**'r'** と打ち込むと **'fr'** で始まる語に飛んでいく。このように、入力された文字順に一致する語の検索を始める。)
- ・ 英辞郎の編集方針からくる制約事項ですが、たとえば、動詞であれば、その主語になりうるのが「人」か「物」か、目的語が「不定詞」か「動名詞」などの統語関係の説明、また、名詞の場合は「加算」、「不加算」の区別表示が記されていません。深く厳密に勉強する場合は、やはり、紙の辞書に当たることが必須です。

1.2 PDIC(Unicode 版)

辞書検索ソフト PDIC は、以前は Win32 形式であったが、現在は Unicode 対応になっています。したがって、(コンピュータ用の) 文字コードが Unicode で作成された辞書はいかなる辞書も PDIC で検索することが原理的に可能です。

(2009 年 12 月現在、英辞郎も旧来の S-Jis コード版が廃止され、Unicode 版でリリースされている。これで変換作業なしで PDIC (Unicode 版) と組合して使うことができるようになった。)

PDIC には、盛りたくさんの高度な機能があり全部は使いこなせません。私の使っている基本的な機能は、

- ・ インクレメンタル検索機能： 入力の文字順に一致する語が検索される最も基本的な使い方です。
(他の検索機能として、たとえば、調べたい単語をコピーするだけで訳を検索する自動検索、知らない単語にカーソルを合わせるだけで意味を表示するポップアップ検索機能などがある)

るが、これらの機能は煩わしさあり、普段はもっぱら基本機能のインクレメンタル検索で
だけで十分間に合っています。)

- 全文検索機能： 複数の語の **and/or** 条件を指定できる複合検索機能は非常に便利で重宝し
ています。たとえば、うろ覚えで、**oyster, world** を含む成句があって、その順番、**the** の
必要有無などを調べたいとき、**oyster, world** の 2 語の **and** 条件で検索すると、

「**the world is one's oyster** : 世の中は～のものだ」がヒットします。

全文検索は、見出し語だけでなく、訳、用例文の中からも検索でき、使いこなすと大変便利
で、これが PDIC 最大の効用といえます。

(例) たとえば、相撲で投げ技の英語表現を知りたいとき、

方法： 訳部の全文検索で、「相撲」と「投」の **and** 検索をする。

検索結果：

arm throw with an inside grip : 《相撲》下手投げ

arm throw with an outside grip : 《相撲》上手投げ

scooping beltless throw : 《相撲》すくい投げ

throw ~ to the ground : 《相撲》～を投げ倒す

などが瞬時に得られます。

- 追加辞書機能： 調べた単語に、例文の追加や、自分流のコメント書き込みたい場合、単独
した追加辞書にその単語を登録することができます。こうしておくことによって、英辞郎が
バージョンアップされても、追加版辞書を新版の英辞郎と同じ辞書グループにすることで自
分追加した例文やコメントは新英辞郎に同時に反映させることができます。
- 関連語検索： デフォルトでは、たとえば、**remember** と入力し、**ENTER** を押すと、見出
し語に、**remember** が含まれる見出し語が全部検索されるようになっています。お持ちのパ
ソコンの CPU パワー (2GHz 以下) やメモリが少ない (1GB 以下) 場合は、全部の検索が
終わるまで時間がかかりますので避けたほうがベターでしょう。(「tool」メニュー、「設定」→
「バックグラウンドで関連語検索を行う」をアンチェックすればよい)
- 人工音声の再生： PDIC にも語句の (Edit メニューに) 人工音声再生機能がありますが、
あまりにもロボット声なので使う気はまったくしません。

2. 「LDOCE4 + DDWin」

LDOCE4(Longman Dictionary of Contemporary English: Ver.4)は、OALD(Oxford Advanced
Learner's Dictionary)と双璧をなし、世界中の非英語圏で英語を学ぶ人たちに使われている英英
辞書です。CD 版辞書には、Activator と呼ばれる類語を調べるときのシソーラス検索ソフトも含
まれています。CD 辞書版のソフトは非常によくできており (時代区分別、言語別の語源検索も
可) 使いやすさ画面表示も洗練されています。しかし、(ユーザから見て) 最大の不便は、(コピ
ー流用防止の観点から) 3 ヶ月に一度程度、CD 辞書をパソコンにセットしなければならない点
です。ある単語を調べようとしたとき、「CD 辞書をセットしてください」とメッセージが出て、

単語調べが中断される時は本当にイライラします。

ところで、辞書検索専用ソフト、DDWin というソフトは、EPWING と呼ばれる形式の電子辞書ならば複数の辞書を串刺し（同一語を複数の辞書で同時に）検索できる定番の優れた辞書検索の専用ソフトです。これがあるがたいことにこれがフリーソフトなのです。

世の中には頭にいい人がいるもので、LDOCE4 の辞書データを EPWING 形式に変換するスクリプトを作ってくれました。このスクリプトで LDOCE4 を EPWING に変換し、DDWin で使っています。もちろん、Activator も DDWin 上で使え、挿絵などのカラー図表も問題なく表示できます。ただ、元の CD 辞書にある、単語の読み上げ機能がなく発音が聞けないのは残念です。

3. Bookshelf Basic Version 3.0（「研究社・新英和中辞典第 6 版」）

以前からも根強い人気のある研・中英和第 6 版の PC 版辞書です。英語学者の吉川道雄さんが編集責任者となり心魂こめて作られた辞書で、特徴は、構文構造がわかりやすく表示されています。また、類語、同義語の解説が充実しており（たとえば、stop, cease, pause の）ニュアンスの違いなどを理解するのに重宝しています。また、単語の読み上げ機能があり（ネイティブの）発音が確認できます。（発音確認にはこの辞書を使っています。）

なお、本 PC 辞書は、マイクロソフト社のオフィス・プログラムに付随している Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0 と呼ばれています。以前の、オフィス・プログラムには Bookshelf Basic Version 2.0 として小学館のプログレッシブ英和辞典が付随していました。プログレッシブ英和辞典も定評のある辞書ですが、見た目の画面表示がイマイチなため本辞書は今は使っていません。

4. Oxford English Dictionary(OED) Ver.4

いわずと知れた世界の英語辞書 OED の CD 版辞書です。書籍版で買うと大型の本が 20 数冊になりとても普通の住宅の書斎には置けません。パソコン技術の進歩で、この OED が PC 上で使うことができるようになりました。世界の英語専門辞書なので普段は OED を使うことはありませんが、ただ、語源をとことんまで調べたい、意味の変遷を深く知りたいという時に使っています。

さて、OED の Ver.3 までは、これをインストールすると、ハードディスクの一番先頭の MBR(Master Boot Record) にコピー防止のための情報が書き込まれ、これが、最新の McAfee などのウイルス対策ソフトとバッティングし、OED 検索ソフトが途中でフリーズする現象が現れます。それと、LDOCE4 の CD 版辞書と同じく、90 日に一度程度データディスクの再設定を求められることもあってユーザから大変不評でした。しかし、Ver.4 がリリースされて、コピー防止技術も変更され、かつ、90 日の再アクティベーションも不要となり使い勝手は大変よくなりました。

5. 自家版辞書「Richmond_Words_Bank」

マイクロソフト社のデータベースプログラム ACCESS を使って構築している自分専用の自家版辞書です。これまで、普段、Time, Newsweek などの資料などを読んでいるときに、これはいい表現だ、使いたい・覚えておきたいと思う語句をコツコツとデータベースに入力してきました。(もちろん、毎回のレッスンの word も本プログラムに入力しています。) つもり積もって、この自家版辞書「Richmond_Words_Bank」の登録語句数は(2009 年末) 約 9400 項目になりました。感傷的に言えば、本辞書はいわば私の英語の勉強の歴史でもあり、長年にわたり自分で作り上げてきたもので一番愛着があり、自分の「お宝」辞書であります。

ACCESS は、互いに関係のある複数のテーブル(これをリレーショナル・データベースと呼んでいる)を対象に各種の条件に一致する目的レコードの抽出やそのレポートの作成機能が充実しています。当校のアーカイブ資料中の語彙 Ref. (たとえば、at, in, on, with などの前置詞句、現代英語の中のフランス語語彙、エッ・ホントと思わせる面白い表現語句など)は、「お宝」自家版辞書を存分に使って作成しています。

(当校のアーカイブ資料: http://www001.upp.so-net.ne.jp/richmond/p6_Archives_List.htm)

<補足: ソフトなどの入手先>

(注: 以下、紹介する辞書、ソフト類は私の PC 環境(OS: Windows XP/Vista/7)で問題なく動作しています。しかし、皆さんのお使いの PC では、CPU 速度、メモリ容量、ハードディスク残容量などの違い、また、すでにインストールされている他の(ゲーム)ソフト等とのバッティングなどで動作に不具合が出るかもしれません。)

- 英辞郎

書店で書籍版の「英辞郎」を売っていますが、中の、CD は最新版ではありません。オンラインで EDP (滋賀県の道端早知子さんという方が代表) からダウンロードで購入できます。(¥1980.)

アドレス: <http://www.eijiro.jp/index.html>

- PDIC(Unicode 版)

TaN さんという方が開発されている、シェアウェアのソフト。(実質フリー)

アドレス: <http://homepage3.nifty.com/TaN/>

- LDOCE4

現在、書店では LDOCE は第 5 版が出ていますが、私が見た限りあまりにも初心者用辞書に編集方針が変えられたようです。(登録されている語彙数は第 4 版よりも少なくなっている。) LDOCE4 で最新のものが手に入れば、不評であった、90 日ごと再 CD-ROM セット要件が改善されているかも知れません。もし、改善されていれば、DDWin と組み合わせる必要はありません。

- LDOCE4 を (DDwin で使えるよう) EPWING に変換するスクリプト

アドレス: <http://hp.vector.co.jp/authors/VA005784/longman4/index.html>

- DDWin (フリーウェア)

アドレス：<http://www.vector.co.jp/soft/win95/writing/se025915.html?g>

- Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0 (研究社・新英和中辞典第 6 版)
本 CD 辞書は、以前にマイクロソフト社の Office XP Professional に付随していた。
Office2003 以降は、Bookshelf は付いていないと聞いている。
- Oxford English Dictionary(OED) Ver.4(CD 版)
英語の専門家・学者かよっぽどの英語の辞書好きでない限り必要はないと思う。もし、どうしても欲しければ、Amazon.co.jp で新品が¥30,000 弱で購入できます。(安くても、中古で出ている Ver.3 は買ってはいけません。) もし、以前の Ver.3 を持っている人は、アップグレード版を¥13,000 強で買うことができます。
- 自家版辞書 (「Richmond_Words_Bank」)
これは、私自身が 10 数年かけてコツコツと ACCESS データベースで構築してきた自分流の「お宝」辞書です。登録語彙は、主に時事英語単語ですが、Time や Newsweek などを読んで面白いと思った単語とその実例文、in, on, at, for, with などの前置詞句、成句は重点的に拾っています。VBA マクロで、見出し、訳、用例などの組合せ検索ができるようにしています。
当分、外部に公開・販売する予定はありません。

I.Nishida

Richmond E.S.

HP: <http://www001.upp.so-net.ne.jp/richmond>

Mail: richmond@da2.so-net.ne.jp